

第35回 運営協議会について

令和2年7月10日(金)開催の第35回運営協議会につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応として、大田区役所での開催を中止し、地域の方々を代表する委員の皆様への資料送付による書面開催とさせていただきます。

運営協議会では、工場の操業状況や排ガス、排水、ダイオキシン類等の調査結果等を報告しています。操業状況及びダイオキシン類調査結果については下表のとおりです。その他の協議会資料についても、清掃一組のホームページで公表していますので、ご覧ください。

操業状況(令和元年6月から令和2年5月)

期間	炉稼働日数		搬入量	焼却量	発電電力量	売電電力量
	1号炉	2号炉				
令和元年6月 ～ 令和2年5月	305 日	308 日	180,523 t	177,084 t	104,627,949 kWh	78,530,640 kWh

※小数点以下は表記上省略しています。

ダイオキシン類調査結果

項目	基準値	調査値	調査年月日	単位
排ガス	0.1	0.000019	令和元年8月29日	ng-TEQ/m ³ N
		0.00000037	令和元年10月7日	
		0.00000036	令和元年12月13日	
		0.00000084	令和元年8月30日	
		0.00000019	令和元年10月8日	
		0.00000025	令和元年12月12日	
飛灰処理汚泥	3	0.58	令和元年8月30日	ng-TEQ/g
污水处理汚泥	3	0.032	令和元年8月30日	ng-TEQ/g
焼却灰	3	0.00083	令和元年8月30日	ng-TEQ/g
排水	10	0.0070	令和元年8月30日	pg-TEQ/L

- 1 ダイオキシン類は、ポリ塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン、ポリ塩化ジベンゾフラン、コプラナーポリ塩化ビフェニルの総称です。
- 2 TEQ(毒性等量)とは、ダイオキシン類の量を最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシンの毒性に換算した値です。
- 3 排ガス中のダイオキシン類の値は、酸素濃度12%換算値です。
- 4 ng(ナノグラム)は10億分の1グラム、pg(ピコグラム)は1兆分の1グラムの質量を表します。
- 5 m³N(ノルマル立方メートル)は、0℃、1気圧の標準状態における気体の体積を表します。

放射能等測定結果

大田清掃工場では、排ガス・焼却灰等の放射能濃度、敷地境界・灰処理設備等の空間放射線量率を定期的に測定しています。

右表は、令和2年1月から令和2年6月までの、敷地境界での空間放射線量率の測定結果です。大田区が定期的に定点測定している区内の値と大きな差はありません。

排ガス・焼却灰等の放射能等の測定結果については、清掃一組のホームページで公表しています。

測定月	空間放射線量率	
	単位： $\mu\text{Sv/h}$	
	敷地境界	大田区内
1月	0.04～0.08	0.05
2月	0.04～0.08	0.06
3月	0.03～0.08	0.05
4月	0.03～0.08	0.05
5月	0.02～0.07	0.06
6月	0.03～0.07	0.05

※地表の高さ1mでの測定結果です。

第一工場再稼働事業の進捗紹介

第一工場再稼働事業では、令和2年度の1炉目再稼働に向けて焼却プラント機器の更新や外壁、外構、建築設備の補修を行っています。

今回は南側外壁補修工事について紹介します。今回の補修工事で、壁面に新たにアクセントをつけることになりました。このデザインについては、地域の方や大田区の関係部署、大田区デザイン検討委員会の有識者の方々からご意見とアドバイス等をいただき決定しました。

京浜島にお越しの際は、第一工場の新たなデザインをぜひ一度ご覧ください。



補修前

補修前の南側外壁は、白地をベースとしていました。今回の工事で、古い塗材を除去、下地補修等を行い、最後に塗装を行います。



補修完成（イメージ）

補修完成後の南側外壁は、新たに青色の三角形をワンポイントとしたデザインに変わります。完成は令和2年10月頃を予定しています。

工場見学会について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当面の間工場見学を中止しています(見学予約受付も含む)。

区民の皆様にはご迷惑、ご不便をおかけしますが、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

再開につきましては、清掃一組のホームページでご案内申し上げます。

印刷物登録

令和2年度 第44号